

平松深良線道路改築工事を終えて

令和元年度 社会資本主義整備総合交付金事業（繰越明許）
（都）平松深良線（公文名工区）道路改築工事

当初工期 令和2年3月26日～令和2年10月30日

変更工期 令和2年3月26日～令和3年2月26日

地区名 沼津地区

会社名 渡邊工業株式会社

執筆者 監理技術者 佐藤宏紀

技術者番号 234082

本工事は、裾野市内の拠点を連結する幹線で、南北方向のバイパスルートを形成する道路改築工事である。

工事概要

道路延長 $L=336.5\text{m}$ （新設 $L=140\text{m}$ ）、
道路幅員 $W=20.0\text{m}$ 、（車道 $W=9.0\text{m}$ 植樹帯を含む歩道、左右各 $W=5.5\text{m}$ ）
舗装（車道） $A=1180.0\text{m}^2$ 、車道（歩道） $A=843.0\text{m}^2$

問題点

本工事を入札する時点では、道路改築工事のみでしたが、設計照査や打合せ等で、下水道工事及び上水道工事が本工事と同一箇所に計画されており、別工事として道路改築工事入札後の5月以降にそれぞれ発注されることが判明した。

下水道工事については現在使用している下水道管を使用したままで、新たに左右両歩道に新設し、使用したまま接続する計画だった。

上水道工事についても、左右両歩道の下水道管の上部に布設する計画だった。

この結果、工事施工手順上、改築工事の施工途中に下水道工事と上水道工事を行う必要があり、改築工事だけ施工を進めることができず、上下水道施工業者と工程調整が必要となった。

問題点の解決

下水道工事業者及び上水道工事業者との工程調整

・下水道工事との工程調整

幸いにも下水道工事も当社での施工となりましたので下水道工事との調整は比較的簡単になりました。

改築工事は路床を $t=1.0\text{m}$ 、RC 砕石との入替えなので、通常施工ですと効率を考慮し全面掘削、入替えで施工を行いますが、使用中の下水道管があり動線の確保も必要となるので道路の左片側の路床入替えを完成させてから、下水道作業を左歩道内新設管布設、続いて右歩道内新設管布設、使用している下水道管の切替え、既設下水道管の撤去を優先させながら道路改築工事を進めました。

・上水道工事との工程調整

上水道工事は着工から完成まで 2 か月程度かかる計画であるため、改築工事は上水道工事を優先させ、支障とならない部分の施工をすることにして調整した。

・発注者との工程調整

改築工事の施工途中に上下水道工事を行うことから、当初発注工期での完成は困難であるため、発注者と協議を行い工期延長した。

・工程調整（その他）

他業者とは適時に工程会議を行い、工事の進捗状況の確認を行った。
問題点があれば、直ぐに対応をしていくことで工程の遅延を無くした。
打合せを密にすれば、手戻りもなく順調に工程調整ができた。

左片側路床施工



終わりに

近隣住民の方は当初工期で道路が使用出来るものと期待しており、工期延長の理解をしていただくため、丁寧に説明を行った。

また、近隣住民の方たちとはコミュニケーションを常にとり、特に現場に配置したガードマンへの具体的な受答えの仕方を徹底して、トラブルもなく無事に完成出来ました。

発注部署は違っても、市役所内での工事ですので、もう少し内部調整をしていただけたら問題点の発生は減少出来たのではないかと思います。



着 工 前



完 成